

- 各地で憲法守れの集会……………1面
- 第93回メーデー、3年ぶりのリアル開催も……………2面
- 中労委労働者委員の公正任命を……………3面



3野党の代表も一緒にコール



快晴の有明防災公園に1万5000人が集まった。

今こそ9条の精神が必要

5月3日
憲法集会

改憲断念へ追い込もう

憲法施行から75年となる5月3日、全国各地で憲法を守りいかそうとアピールする集会やデモ行進など、多彩な行動が取り組まれました。東京では有明防災公園で3年ぶりに「改憲発議許さない！守ろう平和といのちとくらし2022 憲法大集会」が開催され1万5000人が参加。今こそ憲法をいかに、参院選で改憲を阻止しようと呼びかけた。

多くの仲間の参加に励まされる集会

快晴の有明には、首都圏から多くの組合員が参加した。福祉保育労働東京地本から参加した組合員は、「軍事でなく介護にお金をかけることが9条という話が印象的。こんなに多くの方が参加していることに励まされた」。また初めて参加したという女性の組合員は「とても緊張したが、集会に来る途中にも、集会でもいろんな話を聞いた。ジェンダーの話がよかった。憲法のことと勉強したい」と話した。

日本国憲法の意義を問い直していこう

主催した5・3憲法集会実行委員会の藤本泰成さん(平和フォーラム共同代表)があいさつ。ロシアの侵略行為は国連憲章違反であり直ちに撤退を強調。これに乗じた「敵基地攻撃能力

参加者の声



建交労東京の仲間と一緒に参加したダイワードユニオン分会の島中博資委員長(写真右から2人目)は、3年ぶりの集会参加に「本当に励まされた。中野晃一さんの安心供与の話が印象に残った。憲法を守るためにも頑張りたい」と語った。

憲法を守ってこそ平等・安全な社会に

集会には立憲野党から、立憲民主党の奥野総一郎国対委員長代理、日本共産党

の保有「や」核共有「論を批判し、「今こそ憲法が掲げる平和主義、9条の精神が必要とされている。日本国憲法の意義を問い直していこう」と呼びかけた。

フリーライターの小川たまかさんは、女性差別・蔑視に関して「分かりやすく言えば、弱い立



手づくりの横断幕を持って参加した福保東京のみなさん(上) 憲法9条が背中に刺しゅうされたTシャツで参加したJMITUの組合員(写真左の右)

京都



ジャーナリストの金平茂紀さんが講演した京都の憲法集会には2500人が参加した

憲法いかし、いのち・くらし・雇用・生業守る5・11中央行動



日比谷野外音楽堂で行われた5・11中央総決起集会。デモや署名提出、議員要請などに終日取り組んだ

第93回メーデー



第93回メーデーが1日、全国200カ所以上の会場で、一部の集会はオンライン配信で行われた。ロシアのウクライナからの即時撤退、物価高騰から生活守れ、8時間働いて普通に暮らせる社会を実現しようと呼びかけた。東京・代々木公園の中央メーデーは、人数制限のもと3年ぶりに2900人が現地参加して開催(オンラインでも配信)し、都内をデモ行進した。

2面に続く